

クリイロイグチ科

アイゾメイグチ

Gyroporus cyanescens (Bull.) Quél. var. *violaceotinctus* Watling

兵庫県ランク… B

環境省ランク… —

■ 県内分布

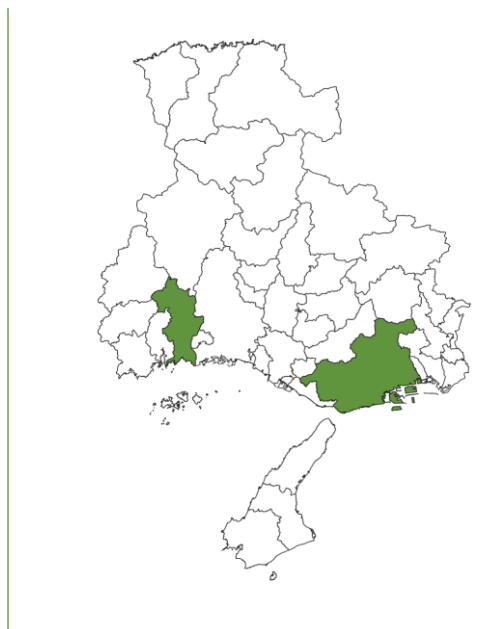
神戸市、たつの市

■ 国内分布

兵庫県、他

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

兵庫県内では希少なキノコで県内ではシイカシ林に発生する。クリイロイグチ属のキノコで青変性があるため同定は容易。



写真提供：和田匠平

■ 保護上の留意点

発生地 の保全(シイカシ林)。

■ 種の概要

傘は径2.5-5.5cm、饅頭型、表面はフェルト状から繊維上で、ときに粗くけばだち、淡黄から帯褐黄色。管孔は白色のち黄色、柄に離生。柄は2.5-6.5×1-2.5cm、頂部でやや急に細まり倒こん棒形あるいは中央部付近近から下部でややふくらんだ円柱形。幼時頂部に不明瞭な繊維状のつばをもつが、つばはのち消失する。表面は頂部白色、株は笠と同色、内部は横にき裂を生じだいに中空となる。子時代は全体が手で触れたり切断するとすぐに濃紺色に変色する。胞子紋は淡黄色。胞子は7-10×4-5.5μm、楕円形、広楕円形、ときに側面においてややソラマメ形。側シスチジアはなく、縁シスチジアは円柱状こん棒系から紡錘形で20-60×6-15μm。夏から秋、広葉樹林(ブナ林、コナラ林)、針葉樹林(マツ林、モミ林)あるいは針・広混交林の地上に単生から群生し、食用。